

# 令和2年度 決算説明資料 ( 第15期 )

公立大学法人  
名古屋市立大学





# 令和2年度決算の概要

(単位:百万円)

区 分	R1年度	R2年度	増減	前年度比
経常費用	41,932	42,383	451	101.1%
業務費	41,113	41,511	398	101.0%
教育研究経費	2,762	2,739	△ 23	99.2%
診療経費	17,835	17,714	△ 121	99.3%
受託研究費等	1,309	1,201	△ 108	91.7%
人件費	19,205	19,856	651	103.4%
一般管理費等	818	871	53	106.5%
経常収益	41,874	43,869	1,995	104.8%
運営費交付金収益	6,544	7,240	696	110.6%
学生納付金収益	2,662	2,698	36	101.4%
附属病院収益	29,371	27,825	△ 1,546	94.7%
受託研究等収益等	1,339	1,283	△ 56	95.8%
寄附金・補助金等収益	802	3,854	3,052	480.5%
研究関連収入	312	220	△ 92	70.5%
その他	841	746	△ 95	88.7%
経常損益	△ 58	1,486	1,544	-
臨時損益	△ 12	18	30	-
目的積立金取崩額	8	7	△ 1	87.5%
当期総損益	△ 62	1,511	1,573	-

## 【ポイント】

- 総損益は1,511百万円のプラスで、前年度決算より1,573百万円の増  
中期計画での令和2年度損益△356百万円から大きく改善
- (経常費用)
- 診療経費は新型コロナウイルス感染症拡大による患者数の減に伴い材料費が減少した一方で減価償却費が増加したこと等により、121百万円の減
- 受託研究費等は受託研究費の執行減等により、108百万円の減
- 人件費は退職手当執行増や看護師、シニアレジデントの現員増等により651百万円の増
- (経常収益)
- 運営費交付金は退職手当の執行増や長期借入金元利償還分の措置が増加したこと等により696百万円の増
- 附属病院収益は新型コロナウイルス感染症拡大による患者数の減(入院△13.4%、外来△8.6%)に伴い入院料・手術料・検査料等が減少し、1,546百万円の減
- 寄附金・補助金等収益はコロナ関連補助金等の影響により3,052百万円の増

(注)計数については、それぞれ切捨て表示しているため、合計と合致しないものがある。以下各表について同じ。 2



# 令和2年度決算 (大学)

(単位:百万円)

区 分	R1年度	R2年度	増減	前年度比
経常費用	10,871	11,059	188	101.7%
業務費	10,276	10,476	200	101.9%
教育研究経費	2,639	2,663	24	100.9%
受託研究費等	1,064	942	△ 122	88.5%
人件費	6,572	6,869	297	104.5%
一般管理費等	594	583	△ 11	98.1%
経常収益	11,067	11,261	194	101.8%
運営費交付金収益	5,791	6,120	329	105.7%
学生納付金収益	2,662	2,698	36	101.4%
受託研究等収益等	1,079	978	△ 101	90.6%
寄附金・補助金等収益	671	791	120	117.9%
研究関連収入	312	220	△ 92	70.5%
その他	549	452	△ 97	82.3%
経常損益	196	202	6	103.1%

## 【ポイント】

○経常損益は202百万円のプラスで、前年度決算より6百万円の増

(経常費用)

○受託研究費等は医学研究科の受託研究費の執行減等により122百万円の減

○人件費は退職手当の執行増等により297百万円の増

(経常収益)

○運営費交付金収益は退職手当の執行増等により329百万円の増

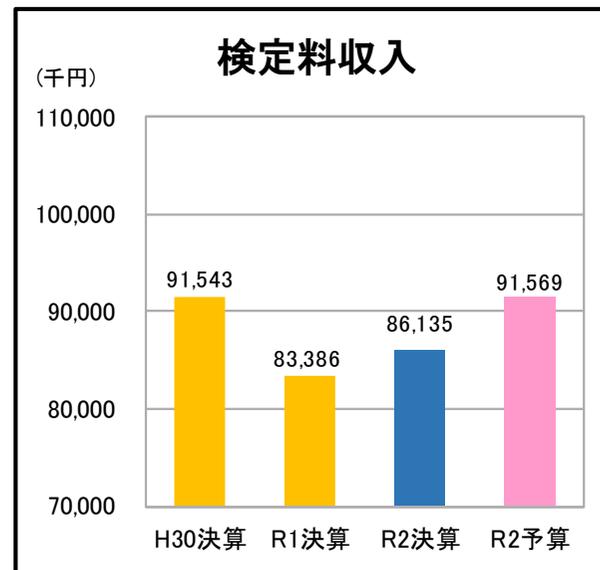
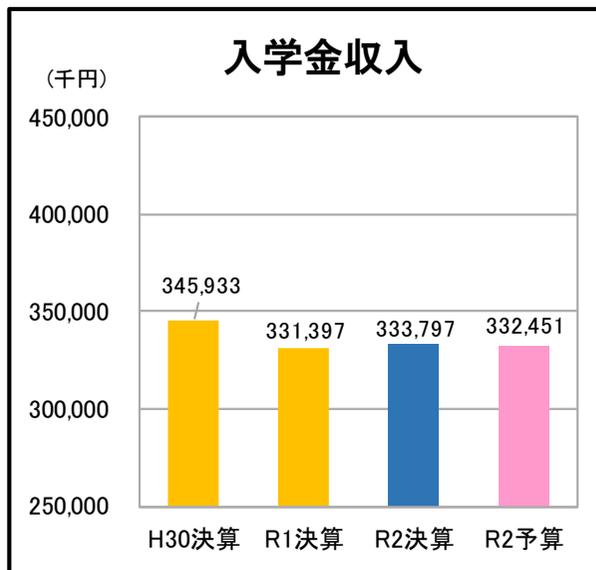
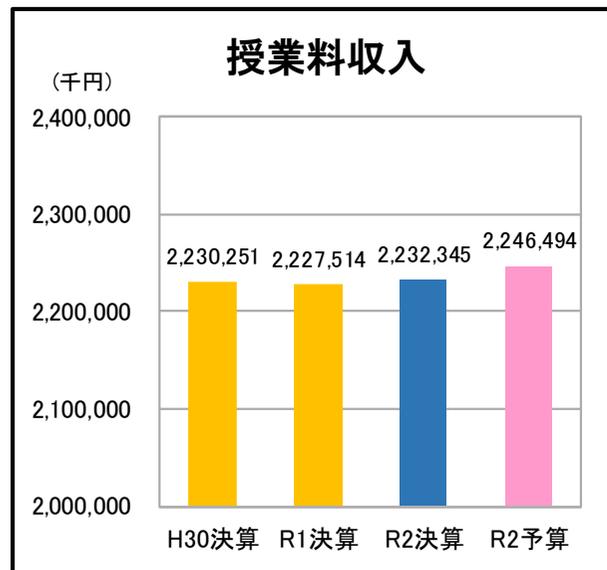
○受託研究等収益等は受託研究費の執行減等により101百万円の減

○寄附金・補助金等収益は国・県補助金の増等により120百万円の増

○研究関連収入は今期の獲得額は増加したものの、前年度繰越分が減少したことによる執行減のため92百万円の減



# 学生納付金収入(大学)



(単位:千円)

項目	H30年度	R1年度	R2年度	(参考)R2予算	前年度増減	対予算増減	前年度比
授業料収入	2,230,251	2,227,514	2,232,345	2,246,494	4,831	△ 14,149	100.2%
入学金収入	345,933	331,397	333,797	332,451	2,400	1,346	100.7%
検定料収入	91,543	83,386	86,135	91,569	2,749	△ 5,434	103.3%
手数料収入	288	180	216	2,664	36	△ 2,448	120.0%
合計	2,668,016	2,642,477	2,652,493	2,673,178	10,016	△ 20,685	100.4%

## 【ポイント】

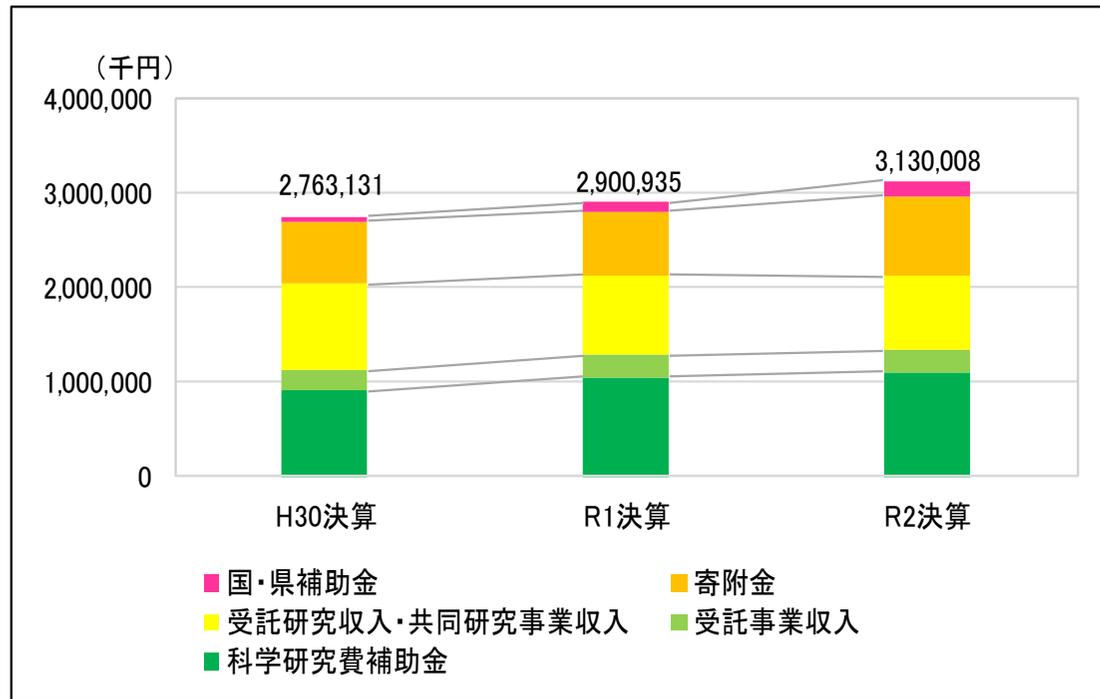
授業料収入：減免額が増（△27,785千円）したが、総合生命理学部の増（+51人）や休学者の減により+4,831千円増（予算増減での減は、定員増は予算上見込まれているものの、減免額が予算を上回ったため）

入学金収入：市外からの入学者数が増加したことによる

検定料収入：志願者数の増（人文社会学部（+146人）、芸術工学部（+126人）等）による。  
（経済的負担軽減のための免除 65人 1,105千円）



# 外部資金等収入(大学)



## 【ポイント】

### ○国・県補助金

- ・「先端的研究施設設備整備補助事業」の増 +64,430千円
- ・特色ある共同研究拠点の整備の推進事業（不育症）の増 +20,000千円

### ○寄附金

- ・学術奨励寄附金の増 +161,098千円

### ○受託研究収入・共同研究収入

- ・IoT等活用行動変容研究事業、医工連携事業化推進事業（医学研究科）等の減

### ○科学研究費補助金

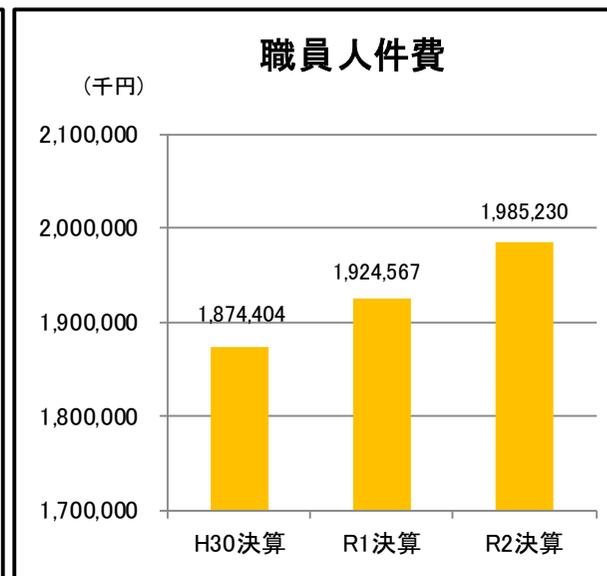
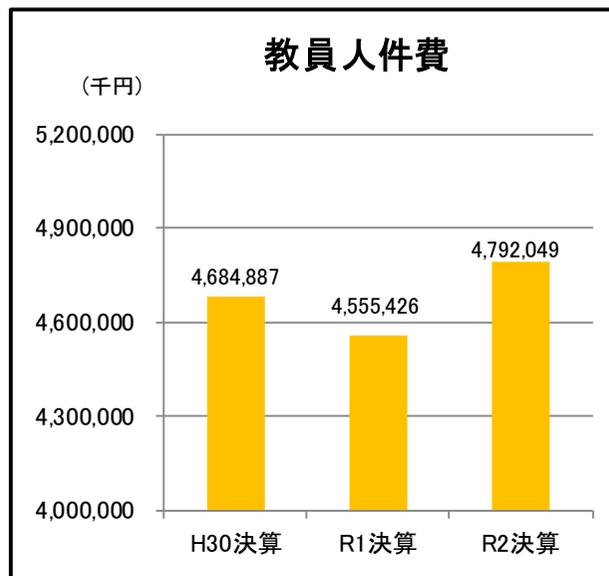
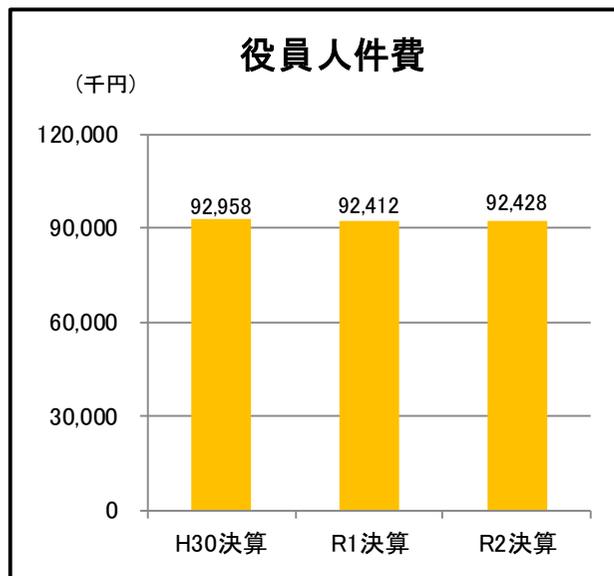
- ・学術研究助成基金助成金（若手研究）、厚生労働科学研究費補助金の獲得増による

(単位:千円)

区分	H30決算	R1決算	R2決算	前年度増減	前年度比
国・県補助金	57,045	84,182	162,131	77,949	192.6%
寄附金	662,086	683,170	845,967	162,797	123.8%
受託研究収入・共同研究事業収入	923,759	847,540	781,036	△ 66,504	92.2%
受託事業収入	210,255	234,438	229,901	△ 4,537	98.1%
科学研究費補助金	909,986	1,051,605	1,110,973	59,368	105.6%
合計	2,763,131	2,900,935	3,130,008	229,073	107.9%



# 人件費(大学)



(単位:千円)

項目	H30年度	R1年度	R2年度	前年度増減	前年度比
役員人件費	92,958	92,412	92,428	16	100.0%
教員人件費	4,684,887	4,555,426	4,792,049	236,623	105.2%
職員人件費	1,874,404	1,924,567	1,985,230	60,663	103.2%
合計	6,652,250	6,572,405	6,869,707	297,302	104.5%

**【ポイント】**

教員人件費：退職手当の増 156,650千円  
 現員増による常勤教員の増等 58,644千円

職員人件費：退職手当の増 45,054千円  
 主事採用や大学病院化準備組織の設置等による常勤職員の増等 47,048千円



# 令和2年度決算 (病院)

(単位:百万円)

区 分	R1年度	R2年度	増減	前年度比
経常費用	31,061	31,323	262	100.8%
業務費	30,836	31,035	199	100.6%
教育研究経費	122	75	△ 47	61.5%
診療経費	17,835	17,714	△ 121	99.3%
受託研究費等	245	259	14	105.7%
人件費	12,633	12,986	353	102.8%
一般管理費等	224	288	64	128.6%
経常収益	30,806	32,607	1,801	105.8%
運営費交付金収益	753	1,120	367	148.7%
附属病院収益	29,371	27,825	△ 1,546	94.7%
受託研究等収益等	260	305	45	117.3%
寄附金・補助金等収益	130	3,062	2,932	2355.4%
その他	291	294	3	101.0%
経常損益	△ 254	1,284	1,538	-

## 【ポイント】 (経常費用)

○診療経費は新型コロナウイルス感染症拡大による患者数の減に伴い材料費が減少した一方で、減価償却費が増加したこと等により、121百万円の減

○人件費は看護師、シニアレジデントの現員増による給与、賞与の増等により、353百万円の増

## (経常収益)

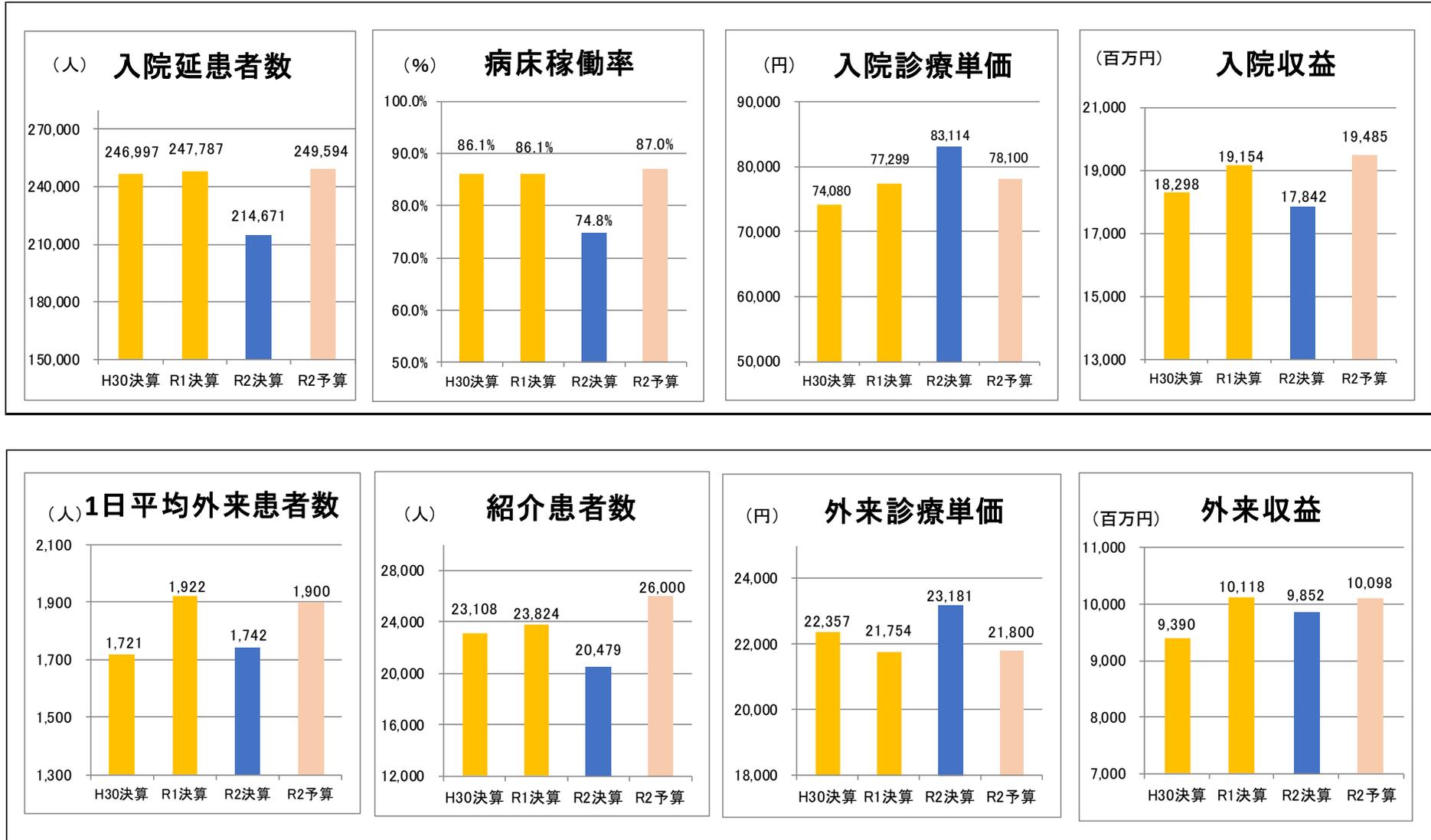
○運営費交付金は長期借入金元利償還分が376百万円増加したこと等により、367百万円の増

○附属病院収益は新型コロナウイルス感染症拡大による患者数の減(入院△13.4%、外来△8.6%)に伴い入院料・手術料・検査料等が減少し、1,546百万円の減

○寄附金・補助金等収益はコロナ関連補助金2,943百万円の影響により、2,932百万円の増



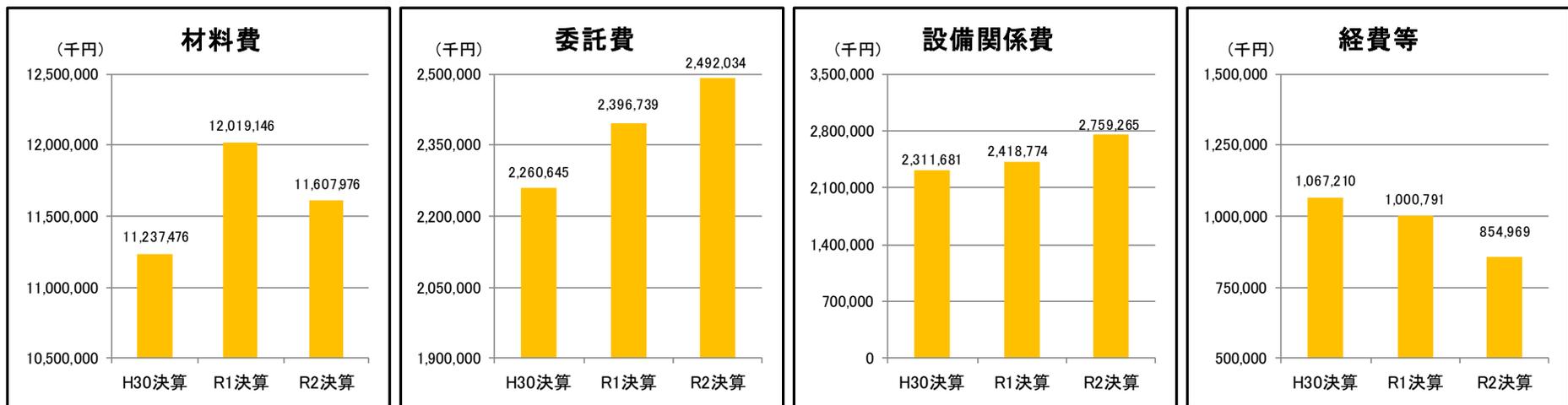
# 診療収益の状況



※R1年度より、同日で3診療科以上を受診する、初・再診科を算定されていない患者等についても集計している



# 診療経費(病院)



(単位:千円)

区 分	H30決算	R1決算	R2決算	前年度増減	前年度比
材料費	11,237,476	12,019,146	11,607,976	△ 411,170	96.6%
委託費	2,260,645	2,396,739	2,492,034	95,295	104.0%
設備関係費	2,311,681	2,418,774	2,759,265	340,491	114.1%
経費等	1,067,210	1,000,791	854,969	△ 145,822	85.4%
診療経費計	16,877,013	17,835,451	17,714,245	△ 121,206	99.3%

**【ポイント】**

材 料 費：医薬品費の減 △351,429千円、診療材料費の減 △38,562千円

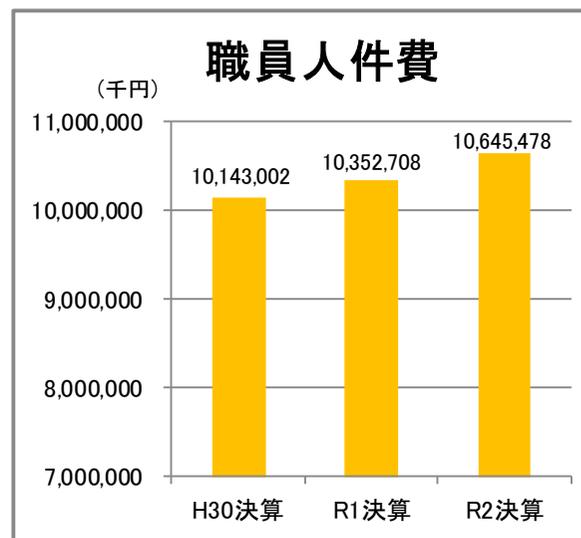
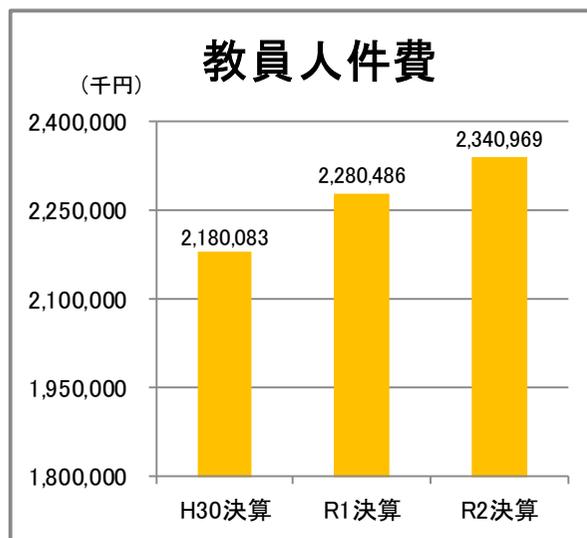
委 託 費：医事業務委託の増 +48,689千円、長期契約の更新に伴う契約金額の増 +20,317千円

設備関係費：減価償却費の増 +220,457千円、修繕費の増 +94,478千円

経 費 等：光熱水費の減 △52,424千円、支払リース料の減 △ 37,474千円、旅費の減 △ 20,462千円



# 人件費(病院)



(単位:千円)

項目	H30決算	R1決算	R2決算	前年度増減	前年度比
教員人件費	2,180,083	2,280,486	2,340,969	60,483	102.7%
職員人件費	10,143,002	10,352,708	10,645,478	292,770	102.8%
合計	12,323,085	12,633,194	12,986,447	353,253	102.8%

## 【ポイント】

教員人件費：欠員補充による給与、賞与の増 132,205千円、賞与引当金の減 △14,927千円

寄附金教員人件費の減 △21,546千円、タイムスタディの減 △31,628千円

職員人件費：シニアレジデントの増等による非常勤医師の人件費増 135,468千円

現員の増加等による看護師の人件費増 191,077千円

賞与引当金の減 △19,893千円



# 比較貸借対照表

(単位:百万円)

区 分	R2.3.31 A	R3.3.31 B	増減 B-A	区 分	R2.3.31 A	R3.3.31 B	増減 B-A
<b>資産</b>				<b>負債</b>			
固定資産	55,816	55,941	125	固定負債	14,064	15,083	1,019
有形固定資産	55,134	55,273	139	資産見返負債	7,787	8,398	611
土地	21,069	21,069	0	長期寄附金債務	862	601	△ 261
建物	20,118	19,431	△ 687	長期借入金	3,984	4,961	977
構築物	323	305	△ 18	退職給付引当金	305	363	58
工具器具備品	7,450	8,073	623	長期リース債務	1,083	718	△ 365
図書	5,960	5,972	12	長期資産除去債務	40	40	0
建設仮勘定	189	398	209	<b>流動負債</b>	<b>10,381</b>	<b>11,191</b>	<b>810</b>
その他	21	21	0	運営費交付金債務	424	621	197
無形固定資産	245	240	△ 5	寄附金債務	2,321	2,406	85
特許権	18	23	5	前受受託研究費等	285	412	127
ソフトウェア	170	162	△ 8	前受金	66	107	41
その他	56	54	△ 2	預り科学研究費補助金等	335	443	108
投資その他資産	436	428	△ 8	預り補助金等	11	127	116
投資有価証券	418	412	△ 6	一年以内返済予定長期借入金	557	933	376
破産再生更生債権等	62	77	15	未払金	5,188	5,083	△ 105
徴収不能引当金	△ 62	△ 77	△ 15	未払消費税等	22	21	△ 1
その他	18	15	△ 3	預り金	274	279	5
流動資産	15,021	17,678	2,657	賞与引当金	180	180	0
現金及び預金	7,764	9,066	1,302	リース債務	713	573	△ 140
未収学生納付金収入	0	0	0	負債合計	24,446	26,274	1,828
未収附属病院収入	5,899	5,109	△ 790	<b>純資産</b>			
徴収不能引当金	△ 88	△ 65	23	資本金	66,698	66,698	0
有価証券	0	250	250	資本剰余金	△ 21,296	△ 22,143	△ 847
棚卸資産・医薬材料	616	715	99	利益剰余金	1,235	2,718	1,483
未収入金	730	2,495	1,765	その他有価証券評価差額金	△ 245	71	316
その他	97	107	10	純資産合計	46,391	47,344	953
資産合計	70,837	73,619	2,782	負債・純資産合計	70,837	73,619	2,782

## 【ポイント】

(資産)

### ○工具器具備品

手術支援ロボットの購入等医療機器の更新により増

### ○建設仮勘定

自動火災報知設備の更新や救急・災害医療センターの設計等業務委託により増

### ○未収入金

県補助金や施設整備費等補助金の未着金による増

(負債)

### ○長期寄附金債務

有価証券の減損による減

### ○長期借入金

医療機器更新等に係る借入金等の増

### ○長期リース債務

新規リースの減

(純資産)

### ○その他有価証券評価差額金

有価証券減損による増



# 利益(損失)の処理・目的積立金

(単位:千円)

【令和2年度 期首】



【令和2年度 期中】  
令和元年度決算での損失処理



令和元年度未処理損失  
△ 62,430

※令和元年度の損失として、積立金を取崩し充当

【令和2年度 目的積立金執行実績】

中期計画の用途に充当  
①教育、研究、診療の質の向上  
②組織運営の改善

区分	事項概要	執行額
教育	開学70周年記念事業	29,068
合計		29,068

(会計処理上の内訳)

費用執行分	臨時利益(取崩)	7,620
資産取得分	資本剰余金	21,448
小計		29,068

【令和2年度 期末】



当期未処分利益  
1,511,640

経営努力認定を受けた部分を目的積立金へ、それ以外を積立金へ計上

令和3年度に以下の項目に活用

- 新学部設置関連経費 18,000千円
- ネットワーク関連機器 67,000千円
- 令和3年度末残額見込 185,354千円



# 比較キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

区分	R1年度 A	R2年度 B	差引	B/A
<b>I 業務活動によるキャッシュ・フロー</b>	1,557	4,418	2,861	283.8%
原材料、サービスの購入等による支出	△ 18,939	△ 19,124	△ 185	101.0%
人件費支出	△ 19,772	△ 19,983	△ 211	101.1%
その他の業務支出	△ 748	△ 791	△ 43	105.7%
運営費交付金収入	7,110	7,576	466	106.6%
学生納付金収入	2,639	2,623	△ 16	99.4%
附属病院収入	28,387	28,563	176	100.6%
受託研究等収入	1,327	1,328	1	100.1%
寄附金・補助金等収入	869	3,409	2,540	392.3%
その他業務収入	632	711	79	112.5%
預り金科学研究費補助金等の増加	57	104	47	182.5%
預り金等の増加	△ 6	1	7	-
設立団体納付金の支払額	0	0	0	-
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	968	△ 1,450	△ 2,418	-
定期預金の預入による支出	△ 3,009	0	3,009	-
定期預金の払戻による収入	5,700	2,309	△ 3,391	40.5%
有価証券の取得による支出	0	△ 250	△ 250	-
有価証券の償還による収入	1,110	0	△ 1,110	-
有形固定資産の取得による支出	△ 5,138	△ 3,825	1,313	74.4%
有形固定資産の売却による収入	0	0	0	-
無形固定資産の取得による支出	△ 22	△ 54	△ 32	245.5%
投資その他の資産の取得による支出	△ 9	△ 11	△ 2	122.2%
投資その他の資産の返還による収入	7	3	△ 4	42.9%
施設費による収入	2,329	377	△ 1,952	16.2%
利子及び配当金の受取額	1	1	0	100.0%
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	451	642	191	142.4%
リース債務の返済による支出	△ 930	△ 704	226	75.7%
長期借入金の返済による支出	△ 150	△ 557	△ 407	371.3%
長期借入れによる収入	1,538	1,910	372	124.2%
利息の支払額	△ 5	△ 5	0	100.0%
<b>IV 資金増減額</b>	2,976	3,610	634	121.3%
<b>V 資金期首残高</b>	2,478	5,455	2,977	220.1%
<b>VI 資金期末残高</b>	5,455	9,066	3,611	166.2%

## 【ポイント】

○令和2年度決算時点の資金残高は9,066百万円（前年度決算より3,611百万円の増）

○業務活動によるCFは4,418百万円（前年度決算より2,861百万円の増）  
→寄附金・補助金等収入により増

○投資活動によるCFは△1,450百万円

（前年度決算より2,418百万円の減）  
→施設整備費等補助金の収入が1年遅れで入金されるため、H30年度実施分とR1年度実施分の差額が減として表れている（H30病院情報システム2,200百万円）

○財務活動によるCFは642百万円（前年度決算より191百万円の増）  
→長期借入金の返済による支出が増しているが、これについては運営費交付金にて措置されている。  
また、長期借入れによる収入が救急・災害医療センター（仮称）の設計等により増

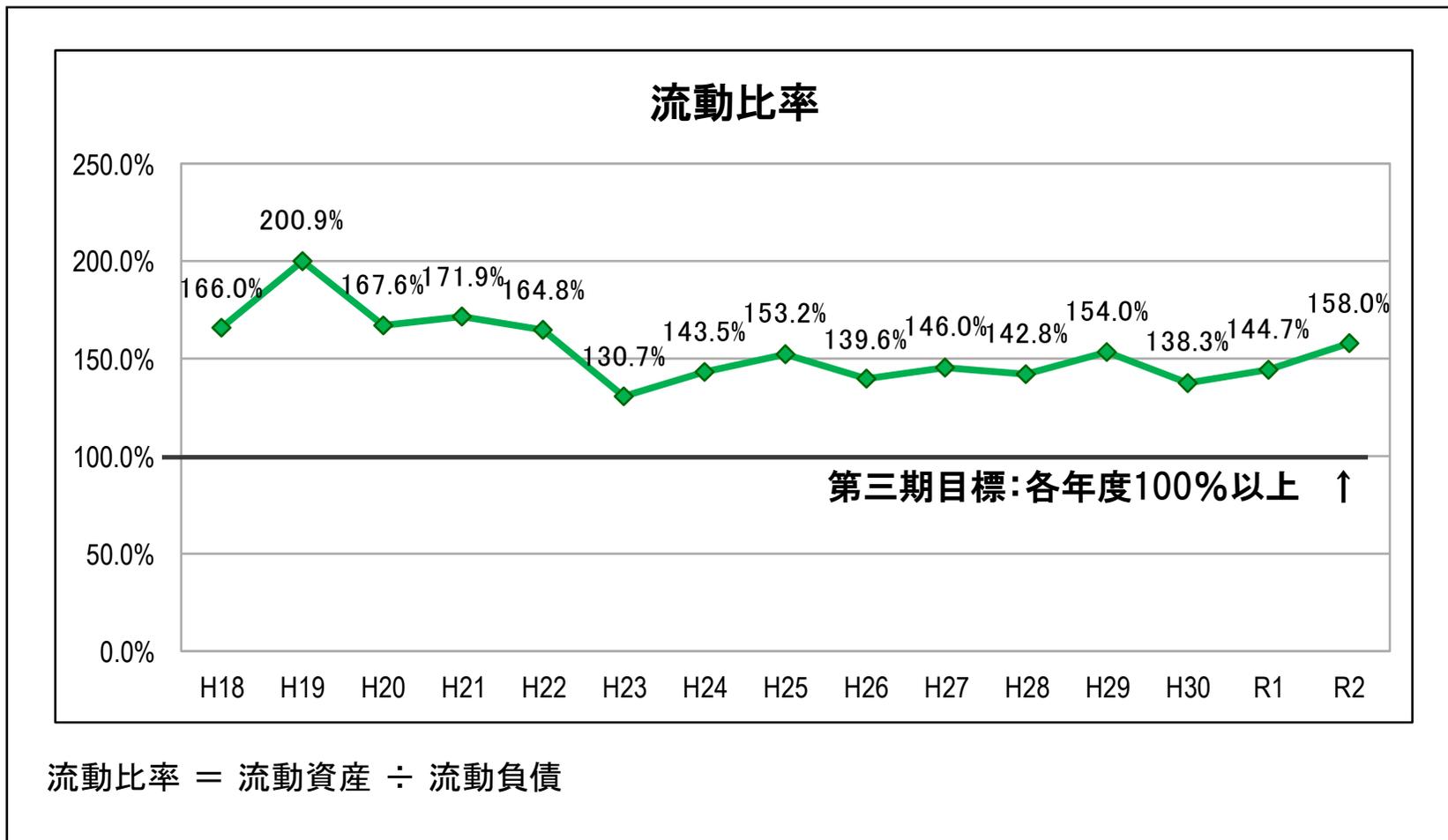


# 第三期中期計画における数値目標

区分	数値目標	目標	(参考) 第二期		第三期					
			29予算	29決算	H30予算	H30決算	R1予算	R1決算	R2予算	R2決算
法人	流動比率 (流動資産÷流動負債)	各年度	-	154.0%	-	138.2%	-	144.7%	-	158.0%
		100%以上								
	当期総損益 ※予算は年度計画の損益	各年度	△222百万円	437百万円	△279百万円	△87百万円	△427百万円	△62百万円	△322百万円	1511百万円
	プラス									
大学	自主財源額 ※運営費交付金以外の財源	対前年度	5,081百万円	5,118百万円	5,245百万円	4,960百万円	5,409百万円	5,001百万円	5,443百万円	5,168百万円
		プラス								
病院	医薬材料費比率 (医薬材料費(税抜)÷診療収入)	各年度	36.5%	37.3%	37.0%	37.5%	37.0%	37.6%	37.0%	38.0%
		30~35年度の 6年間平均で 37.0%以下								



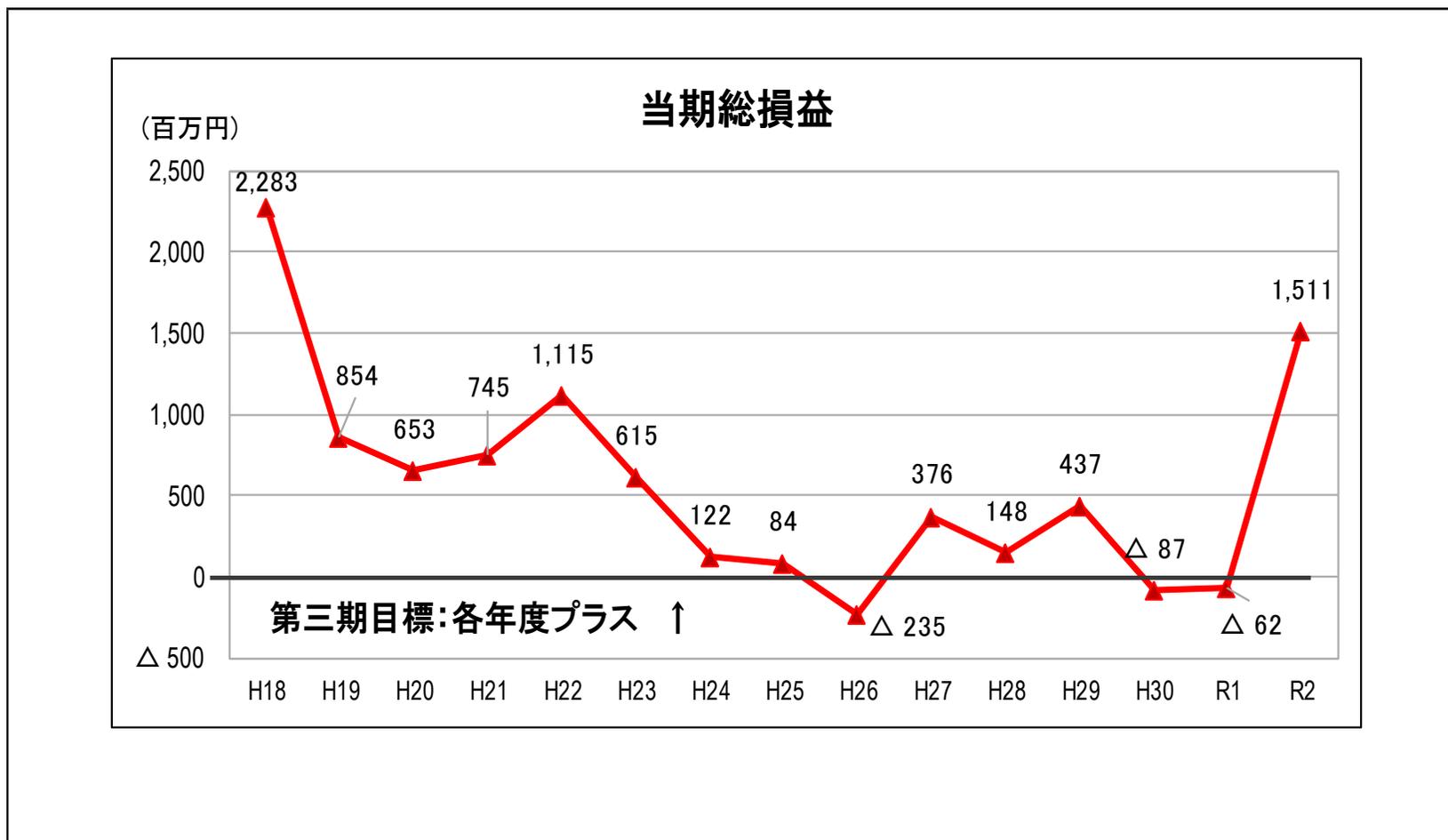
# 財務指標の推移(①流動比率)



**【ポイント】**  
補助金等の獲得により現金・未収金が増したことにより昨年度より改善した。



## 財務指標の推移(②当期総損益)

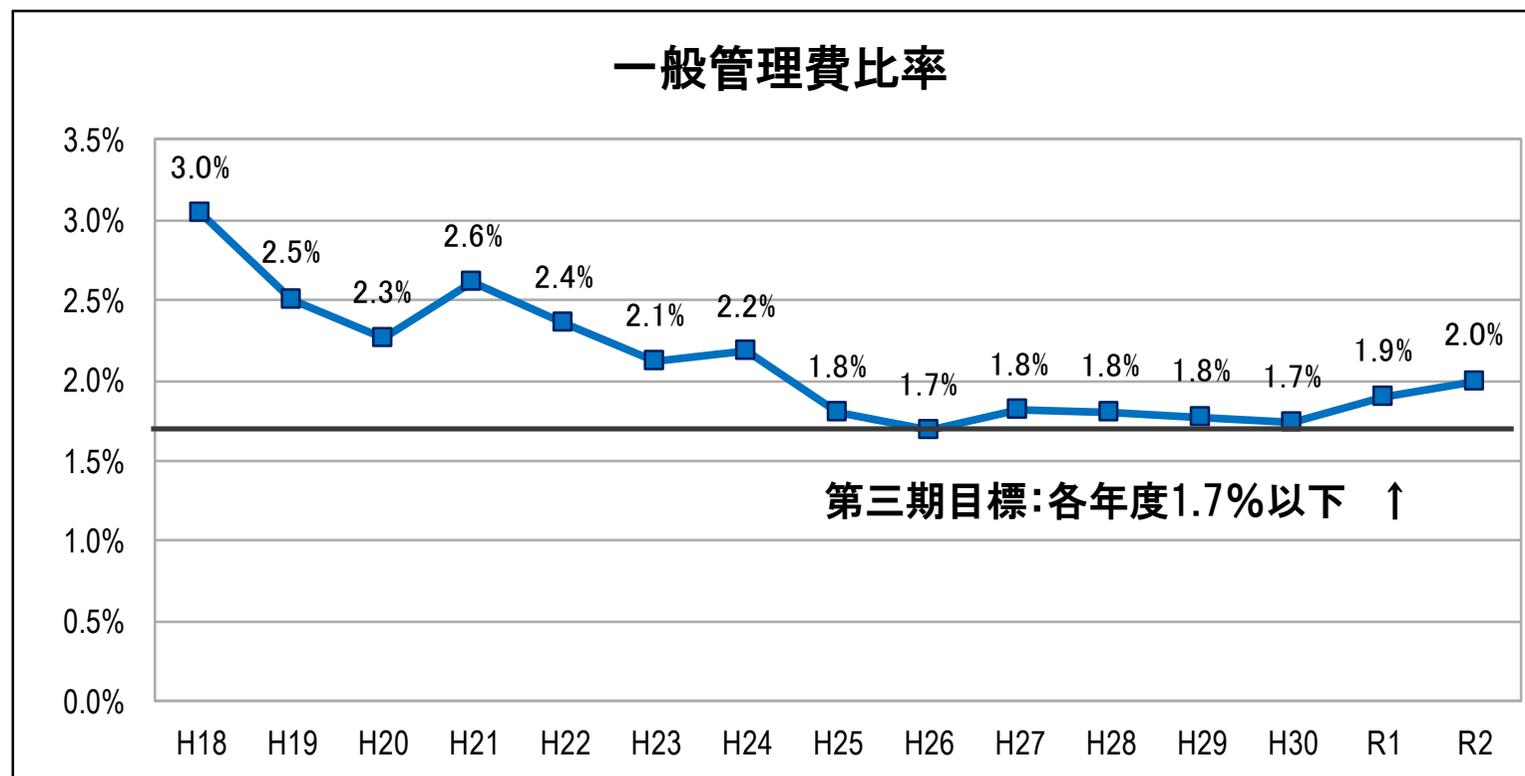


### 【ポイント】

中期計画での令和2年度損益は△356百万円であったところ、補助金等の収入確保に努めた結果、令和2年度損益が1,511百万円と大きく改善した。



## 財務指標の推移(③一般管理費比率)



一般管理費比率 = 一般管理費 ÷ 業務費

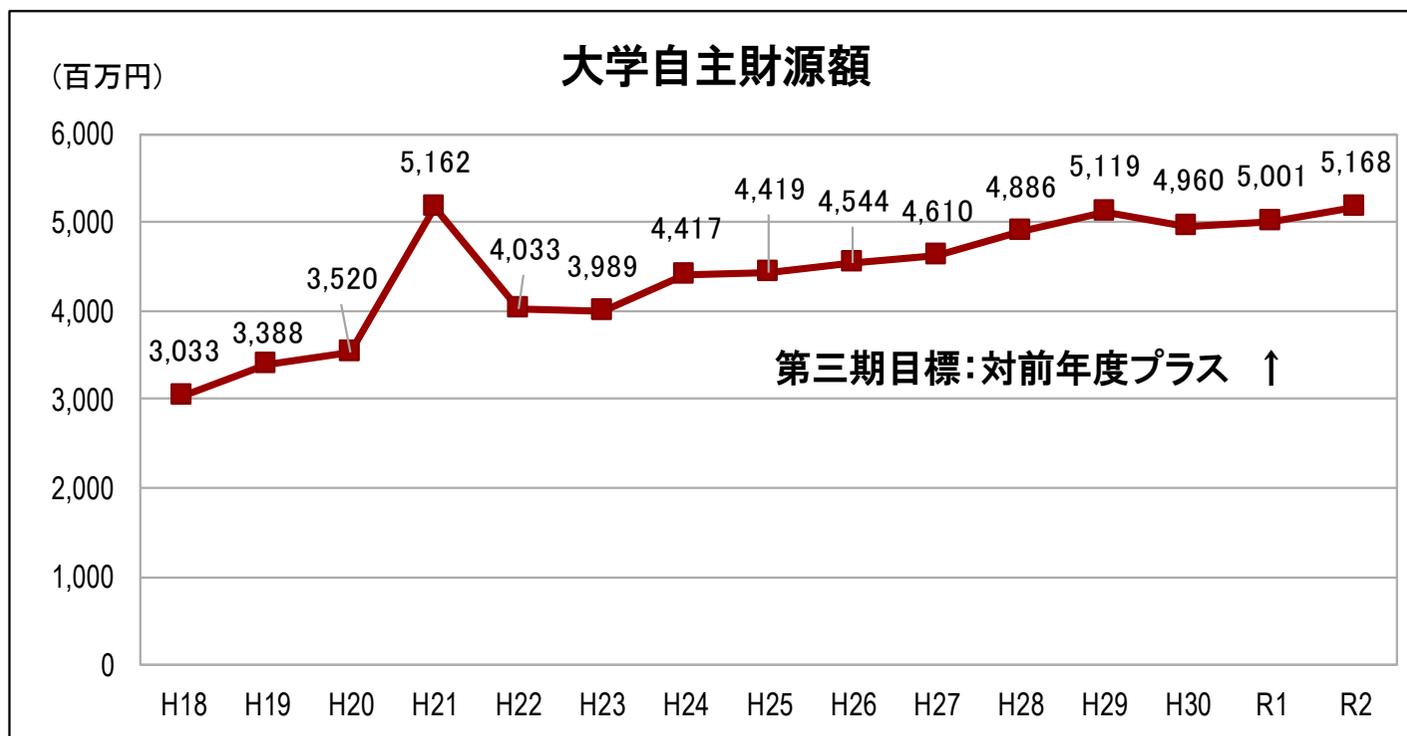
### 【ポイント】

一般管理費比率は2.0%であり、目標1.7%以下に届かなかった。R1年度末に更新した無停電電源設備の減価償却費や半年分の消費増税の影響により一般管理費が増加した。

(一般管理費 ①813百万円→②865百万円)



## 財務指標の推移(④大学自主財源額)



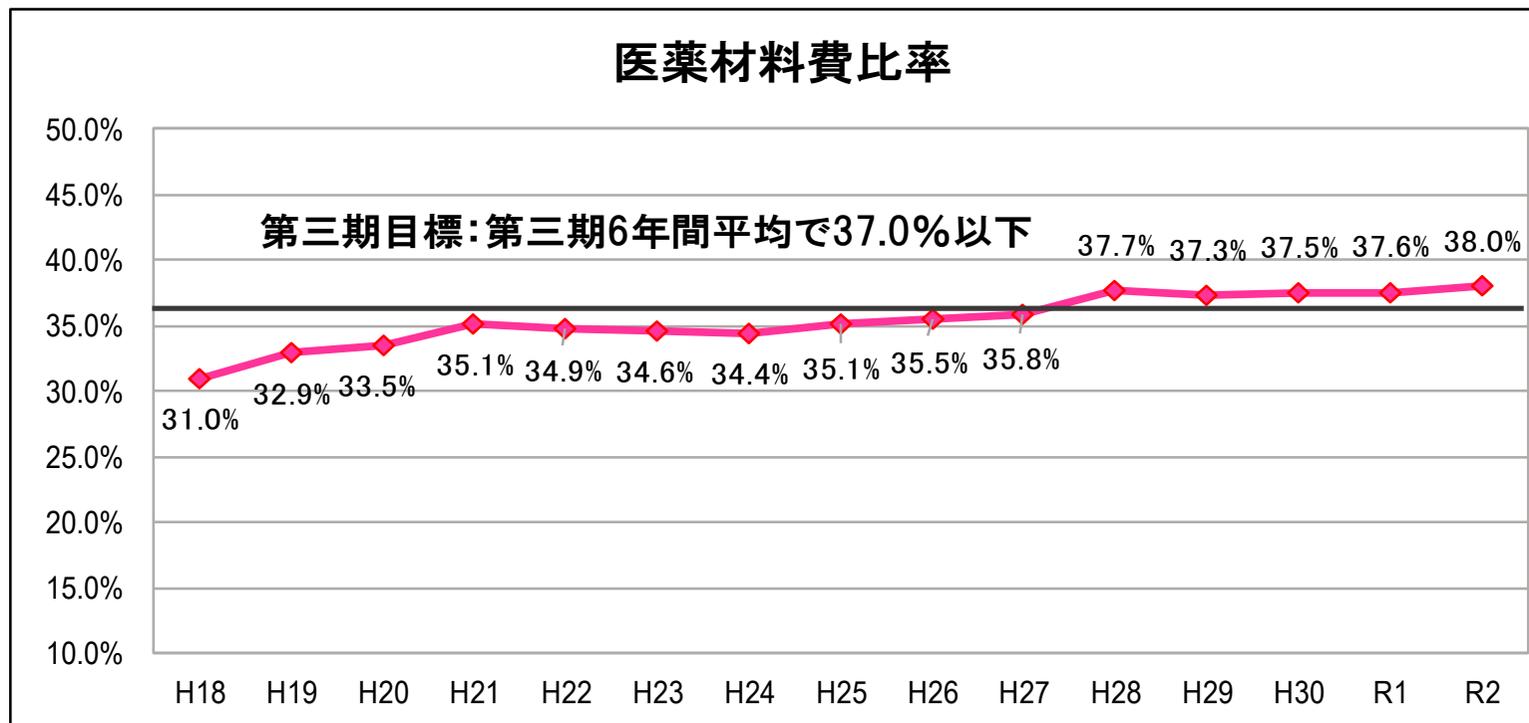
自主財源額＝学生納付金収入＋雑収入＋受託研究収入等

### 【ポイント】

大学振興基金や学術奨励寄附金等の寄附金や国庫補助金（先端的研究施設設備整備補助事業等）の増等により、対前年度プラスを達成することができた。



## 財務指標の推移(⑤医薬材料費比率)



医薬材料費(税抜)÷診療収入

### 【ポイント】

バイオシミラー(バイオ医薬品(タンパク質を有効成分とする医薬品)の後発品)への切り替え、フォーミュラリ(最も経済的で効果的な医薬品の院内における推奨リスト)の活用を推進したほか、病院局との共同購入について、対象品目の拡大を行い契約金額の削減に努めたものの、外来化学療法室などで使用する高額医薬品やコロナ関係の材料費の増などが影響し、前年度より0.4%の増加となった。